

K-ABC 中央事例研究会のご案内

会員の皆様、いかがお過ごしですか。2020 年度はコロナ禍で中央事例研究会の中止が続きました。講演会と異なり事例を扱う研究会の性質からオンライン開催にもなかなか踏み切れずにはおりましたが、まだまだコロナの終息には程遠い状況ですので、今年度は既に公表されている事例を基に、オンラインで学んで参りたいと思います。どうぞご参加ください。

記

日時：2021年10月9日(土) 14:30～16:30

発表者：永田真吾先生 (山梨大学大学院総合研究部 教育学域教育学系)

テーマ：ひらがなの読み書きが困難な小学生に対する国語の学習支援—
KABC-II・WISC-IV・LCSA の結果から

概要:対象児は、KABC-IIとWISC-IVの結果、読み書きはもとより聴覚的短期記憶およびワーキングメモリ、長期記憶と検索の弱さが認められた。その一方で、結晶性能力と流動性推理は強かった。そこで、視覚刺激を言語化すること、視覚刺激を操作・選択する方法によって学習が進むものと考え、ひらがな清音の読みに関してはアナグラム、特殊音節の読みに関しては視覚化・動作化の手法を用いたオンライン学習を行なったところ、効果が認められた。ひらがな読みの学習後はカタカナの読みも可能となったが、文章読解に関しては逐字読みのままであった。LCSAの結果からは、口頭指示の理解や聞き取りによる文脈の理解は比較的良好であったため、フォーム作成ツールを用いた文章読解の学習を開始した。タブレット端末の音声読み上げ機能や音声入力、ひらがなキーボード入力等を活用することで、本児の認知的負荷を軽減することができ、文章読解の学習へのアクセスが可能となった。

開催方法:zoomによるオンライン開催

定員：50名(申し込み先着順とさせていただきます)

申し込み資格:日本 K-ABC アセスメント学会会員

申し込み方法:以下のアドレス宛にメールにてお申込みください。

- ・件名を「K-ABC 中央事例研申し込み」としてください。
- ・①氏名②会員番号③勤務先(学生の場合は大学名)④所属している地域研究会の4点を明記してください。
- ・折り返し、参加の際の注意事項とzoomのURLをお送りいたします。
- ・録音、録画もお控えいただきますのでご了承くださいませ。

申し込み先: honbu-jimu@k-abc.jp